

# FINE FINET

ファイネット発行

2024

Vol.65

May

[FINET User's Voice]

## ファイル配信サービスを活用した 商品代金請求書電子化の取り組み

株式会社ニチレイ様

[FINET INFORMATION]

- ・チャットサポートの開始について
- ・PSTNマイグレーションに伴う通信手順の移行について
- ・大規模災害等に備えた緊急避難システム(DRサイト)のご紹介



# ファイル配信サービスを活用した 商品代金請求書電子化の取り組み



写真:(左から)藤原 秀樹 様、小竹 順子 様、檜垣 文恵 様

## User's Voice

株式会社ニチレイ 様

ファイネットの新しいサービス、ファイル配信サービスを導入してお取引先様への請求書を電子化することで業務効率化を進めているニチレイ様。取り組みの背景や効果、今後の展望をうかがいました。

## 請求書の電子化に至るまで

—はじめに貴社の事業概要についてお聞かせください。

藤原 弊社は1945年に日本冷蔵株式会社として歩みはじめ、1985年に株式会社ニチレイへ社名を変更、2005年に持株会社体制に移行しました。現在は冷凍食品に代表される加工食品事業、食品を安全にお届けするという社会インフラを担う低温物流事業、世界中のこだわり抜いた素材を扱う水産・畜産事業、医療に用いる診断薬等のバイオサイエンス事業を展開し、皆様の食と健康を支えています。「くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッションの下、世の中のニーズを的確に捉え、お客様にご満足いただける価値ある商品・サービスを提供し続けていくことが私共の使命と考えています。

—商品代金請求書発送に関する業務についてお聞かせください。

藤原 ニチレイ経理部 債権・支払管理グループはニチレイグループ各事業会社の債権・支払関連業務を受託しております。請求書発行を含む債権関連業務は食品事業を担うニチレイフーズとニチレイフレッシュ分のみを受託しており、2拠点（船橋市・大阪市）合わせて17名のチームで請求書発行、入金照合・消込、与信管理等の業務を遂行しています。請求書は延べ約900社のお取引先様に発行しており、月3000通（年3000時間）程度の郵送作業がありました。

業務上の課題として弊社の請求書は受注入力に連動し、システムで自動的に生成、印刷までを自動化しており後は単純な封詰め作業となる為、何とか全てを自動化したいと考えていました。また発送作業は月初めに集中しており、各お取引様で

到着の期日が決められている為、その期間の業務は非常にタイトなものになっていましたが、これをもう少し平準化したいと考えていました。

—商品代金請求書の電子化を検討し始めた経緯についてお聞かせください。

小竹 2022年1月の電子帳簿保存法の改正で、電子取引の書類は紙で保存する事が出来なくなる事が決まり、お取引先様においても、電子化の対応が進む事が明確になった為、弊社でも電子化を進めて行く事といたしました。



藤原 請求書を受け取るお取引先様の立場で考えれば同じ形式の請求書を一つのサービスで受け取る事が理想であると思います。既に受発注のEDIにおいてはその形が実現し、酒類・加工食品業界の多くの卸とメーカーがその恩恵を受けていますので、請求書発行についても同様にするのが一番であると考えファイネットのファイル配信サービスを利用することにいたしました。

## ファイル配信サービス導入の準備

—ありがとうございます。それではファイル配信サービス導入までにどのような準備をされたのか教えていただけませんか。

藤原 2023年4月からサービス導入の準備を始め、部内で2

人のメンバーを指名した後2023年度の最重要目標として大きくシステム開発と得意先対応に分けて進めて行きました。卸様の請求書には日々の納品の明細だけでなく、支店やその先のお取引先様ごとに集計した金額も必要である事が多いのですが、その有無によってシステム開発と得意先対応を2段階に分け、第1弾は2023年10月、第2弾は2024年1月でのスタートとなりました。

**小竹** 各事業会社のシステム管理部門にサービス導入の必要性を説明の上、文案を作成し其々で回議を進めて頂きました。回議決裁の後、第1弾のお取引先様に移行案内を送る1ヶ月前に各営業部門に書面で案内を行いました。本件を進めるうえで、お取引先様よりお問合せを頂いた場合も経理部が全て窓口となり対応する旨を明記しました。その結果、各営業部門からサービスの詳細について説明を求められる事はありませんでした。

——お取引先様へはどのようにご案内されたのでしょうか？

**檜垣** 移行の2ヶ月前に案内文書を請求書に同封して発送しました。案内文書には送付先マスタの登録に必要な情報を盛り込んだ回答フォームのURLを掲載し、お取引先様にはWEB上でご回答を入力頂ける様にしました。各お取引先様のご回答から送付先マスタのCSVデータを作成し、アップロード機能を利用して一括登録を行いました。CSVデータの扱い

に慣れていなかった為、当初は何度もエラーとなってしまいましたがファイネットヘルプデスクにサポート頂き無事完了させる事が出来ました。

**藤原** 請求書作成用のCSVデータ抽出の開発にあたっては、お取引先様の体制・要望に合わせた集計の金額表示

には様々なパターン\*がある為それを新たなフォーマットで、どのように表現するかを整理するのに苦労しました。開発自体は情報システム管理を委託している日立フーズ&ロジスティクスシステムズ社に全面的な協力を頂き、プロジェクト体制の下、延べ半年以上を掛けて完成させました。

請求書									
商品代別		商品代別	商品代別	商品代別	商品代別	商品代別	商品代別	商品代別	商品代別
品名	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
合計			28,274,751	0	0	270,124	0	0	28,004,627
***商庫 (債)			1,988,321	0	0	38,800	0	0	1,988,321
(債) *** ** *センター			3,850,544	0	0	48,025	0	0	3,422,019
(債) ***			983,844	0	0	3,887	0	0	979,957
*** ** (債)			385,727	0	0	1,220	0	0	384,507
** ** (債)			17,871,425	0	0	54,880	0	0	17,816,545
** ** ** (債) ** *			388,248	0	0	3,300	0	0	384,948
(債) ** ** *			12,200	0	0	0	0	0	12,200
(債) ** *			8,482	0	0	0	0	0	8,482
(債) ** ** ** *			756,888	0	0	73,886	0	0	683,002
** ** ** ** (債) ** *			40,020	0	0	0	0	0	40,020
(債) ** ** *			288,408	0	0	4,884	0	0	283,524
(債) *** ** サービス			4,800	0	0	0	0	0	4,800
(債) ** ** ** ** ** ** *			382,200	0	0	5,800	0	0	376,400
(債) *** ** ** *			498,822	0	0	8,200	0	0	490,622
(債) ** ** *			81,442	0	0	0	0	0	81,442

集計(金額)表示の一例

## ファイル配信サービス導入後の効果

——ファイル配信サービス導入後の効果についてお聞かせください。

**藤原** 請求書発行がほぼ自動化され、受信側でご導入頂いたお取引先の数(請求書発行通数)だけ業務時間の削減に繋がります。今期(2023年度)としては、ニチレイフーズとニチレイフレッシュを合わせて約300社分を移行対象としており、約900時間の削減を見込んでいます。

——年間で約900時間の削減は大きいですね。実際お使いいただいて操作性はいかがですか。

**檜垣** ユーザーインターフェースがシンプルで分かり易く、一括で請求データをアップロードした場合も、お取引先様ごとに承認(公開)処理が可能である点や、公開処理が直ぐに反映される点が良いと感じています。ファイネットヘルプデスクが年中無休で深夜まで電話で受け付けて頂ける事も非常に有難いと思っています。



既に電子請求書が普及している環境である事もあり、各お取引先様での受け取りは、非常にスムーズに進んでいますが、請求書のフォームが大きく変化した事や紙から電子に変化した事で、いくつかのご要望を頂いておりますので、今後ファイネットにもご協力を頂きたいと考えています。

## 今後の展望

— 今後の帳票電子化の展望をお聞かせください。

**藤原** 今回のサービスで請求書を受け取って頂けるお取引先様は全体の7割程度で、残りのお取引先様の請求書発行については、まだ手作業が必要であり、今後更にその作業が無くなる様にしていきたいと考えております。中でも多いのは、お取引先様の自社WEBシステムや、他社WEBサービスへのアップロードです。各社各様のシステム利用ではなく、業界全体で共通サービスが普及することで、こうした個別対応を削減できるものと期待しています。

— 最後にファイネットに期待することや課題などがあればお聞かせください。

**藤原** ファイネットは酒類・加工食品業界の商取引における業界共通基盤であると言えます。ファイネットのサービスを利用する企業が増え



れば増えるほど、各企業の業務効率化が進むため、ファイル配信サービスについても、その信念を持って積極的に営業展開を進めて頂きたいです。また、業界ならではのニーズをサービスに反映して行けるのがファイネットの最大の強みであると思います。この新たなサービスについても利用企業の声に応じたブラッシュアップを進めて行って頂くことを期待します。

— ご期待に沿えるよう引き続き取り組んで参ります。本日は貴重なお話をお聞かせいただき有難うございました。

## CORPORATE PROFILE



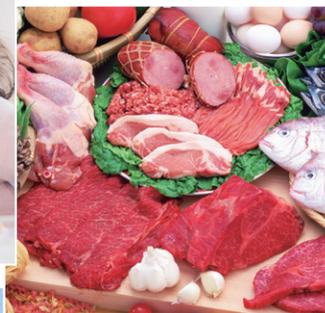
### 株式会社ニチレイ

#### おいしい瞬間を届けたい

日本の食生活を良くしたい  
創立以来、この高い志を胸に、多彩な事業を展開し、  
単なる食品企業に収まらない  
食のフロンティアカンパニーとしての道を  
歩んでまいりました。

ニチレイグループは、「長期保存」、「品質保持」、「食材の再現性」といった特性を持つ「冷力」を事業のコアとして、これからも食に関する幅広い領域で、人々の食生活を支え続けてまいります。

本社	東京都中央区築地六丁目19番20号ニチレイ東銀座ビル
代表者	代表取締役社長 大櫛 顕也
売上高(連結)	662,204百万円 (2023年3月期)
従業員数(連結)	15,766名 (2023年3月31日現在)
事業内容	加工食品事業 水産事業 畜産事業 低温物流事業 不動産事業 バイオサイエンス事業



## チャットサポートの開始について

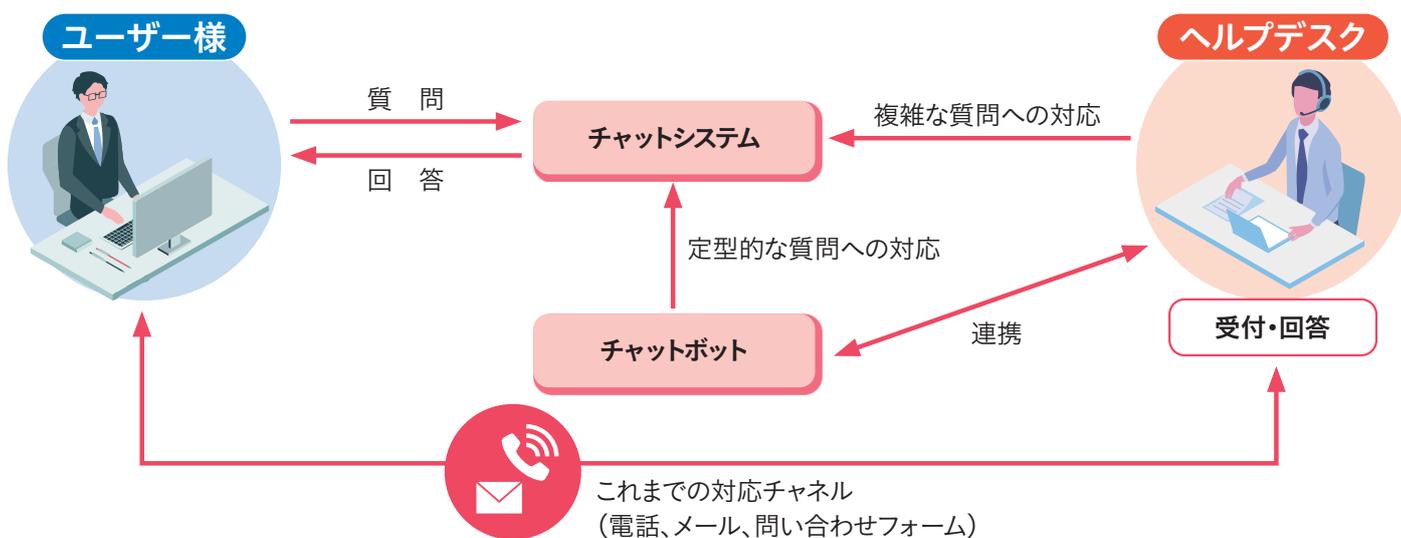
弊社ではサービスのご利用に関する問い合わせ窓口としてヘルプデスクを設けています。ヘルプデスクではこれまでの電話やメール、問い合わせフォームに加えて、新たな問い合わせチャネルとしてチャットサポートを2023年9月より開始しました。

チャットサポートでは、チャットボットによる自動回答とオペレーターによるチャット対応を併用し、ご質問やお困りごとのスピーディーな解決を目指しています。電話、メール、問い合わせフォームからのお問い合わせも引き続きご利用いただけますので、ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。

### 【サポート時間】

チャットボット(自動回答)：24時間365日

オペレーターによるチャット対応：平日9:00～17:30



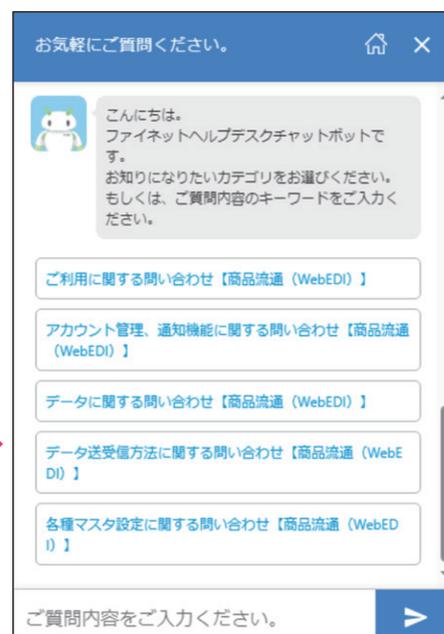
### 【対応サイト】

手続きサイト、商品流通VAN WebEDI、ファイル配信サービス、加入申込サイト

### 【利用方法】

各サイトのログイン後画面右下に表示されている「ご質問をお受けします」のアイコンをクリックしてご利用ください。

(画面イメージ)



## PSTNマイグレーションに伴う通信手順の移行について

東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社からのPSTNマイグレーションの公表を受け、弊社では電話回線による通信（JCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順）のサポートを終了するため、「インターネット手順（JX手順、ebXML MS 2.0手順、AS2手順、SFTP）」もしくは「専用線接続サービス\*1」、またはWebEDIに移行いただけるよう通信手段の切り替えを推進してまいりました。

2023年12月に電話回線による通信（JCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順）を利用されていた全てのユーザー様は移行を終えられ、データ交換における処理遅延等の通信品質低下の影響を受けることなく、PSTNマイグレーション対応を完了することができました。早期の切り替えにご協力いただき、誠にありがとうございました。

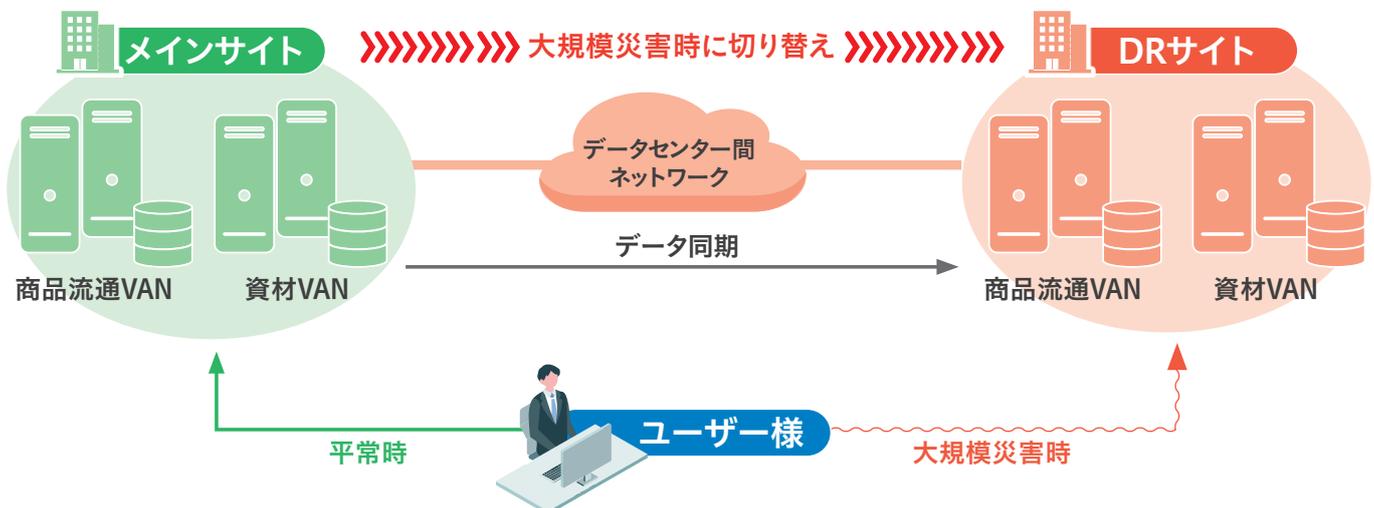
※1 専用線接続サービスは有償にてユーザー様拠点と弊社VANを接続するための独立した閉域ネットワークを提供するものです。専用線接続サービスではインターネット手順に加え、全銀協TCP/IP手順・広域IP網（従来のPSTN網ではなく、広域IP網を利用した全銀協TCP/IP手順）、FTPをご利用いただけます。

## 大規模災害等に備えた緊急避難システム（DRサイト）のご紹介

弊社では、首都圏エリアでの大規模災害等の緊急時にも安定したサービスを継続できるよう、首都圏から離れたエリアに緊急避難システム（DRサイト\*2）を設置しています。

メインサイト（首都圏）に接続ができない状態となった場合は、DRサイトに切り替えて運用を継続しますので、お取引先様とのデータ交換が継続できます。

※2 ディザスタリカバリ（DR:disaster recovery）とは、「災害復旧」のことで災害時のシステム障害を素早く復旧・修復を行うための仕組みや体制を指します。



弊社ではメインサイト（首都圏）の被災を想定したDRサイトへの切替訓練を毎年継続的に実施しており、実際に大規模災害等が発生した場合にも安定したサービスが提供できるよう備えています。

お問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク  0120-091-094 (年中無休 7:30~23:00)

Email: fcs@support.finnet.co.jp

## FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付しております「FINE FINET (ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら「FINE FINET送付先変更(受付)」フォームよりお申し込みください。  
お申し込み完了後、受付完了メールを申請者情報にご登録いただいた宛先に送信いたします。  
なお、お申し込み内容に確認事項がある場合はヘルプデスクより別途ご連絡差し上げます。

「FINE FINET送付先変更(受付)」フォーム

URL <https://member.finet.co.jp/fts/ffSendRequest/recept/>

こちらからも  
アクセスできます



送付先変更画面



FINE FINETは各サービスの利用窓口担当者様宛にも送付しています。担当者様の変更に伴い送付先も変更いたします。

利用窓口の担当者情報変更や担当者変更につきましては、「手続きサイト」にログインのうえ「各種お申込み」からお申し込みください。

サービスに関する重要なお知らせをお届けするため、ご担当者情報を最新の状態に保つご協力をお願いいたします。

「FINE FINET送付先変更(受付)」フォームへは次の弊社Webサイトからアクセスいただけます。

・コーポレートサイトの広報誌「FINE FINET」ページ

URL <https://www.finet.co.jp/finetnet/>

最新号掲載欄右下のリンクボタン「冊子版の送付先変更はこちら」

こちら  
から

冊子版の送付先変更はこちら

・「手続きサイト」ログインページ

URL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>

画面右下のリンクボタン「FINE FINET送付先変更」

こちら  
から

▼ID再通知  
▼パスワード再発行  
▼FINE FINET送付先変更

【お問い合わせ先】

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)



FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.65 2024 May 2024年5月1日発行

[発行](株)ファイネット 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1 日本橋三丁目スクエア6階  
TEL.03-5204-2600 [編集・発行責任者] 久我 章良



<https://www.finet.co.jp>

